

第2回まちづくり推進町民会議を開催

まちづくりに意見要望

平成29年度第2回まちづくり推進町民会議(山崎晴一議長)が10月16日(月曜)10:30から美深町役場大会議室において開催され、委員13名と町理事者、各課長等あわせて26名が出席しました。

会議では、1つ目に第5次美深町総合計画の平成28年度における事業の実績説明、2つ目は8月に行政評価町民委員会で議論された行政評価の結果説明、3つ目に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の評価結果の説明を行い、それらの報告事項の後にまちづくりに関する意見交換を行いました。

会議の内容

- (1) 山崎議長あいさつ
- (2) 山口町長あいさつ
- (3) 第5次美深町総合計画(平成28年度事業実績)について -①
- (4) 平成29年度(平成28年度事業)行政評価結果について -②
- (5) まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果について -③
- (6) 一般廃棄物処分場の移行及び資源ごみ専用袋の廃止について -④
- (7) まちづくりの推進についての懇談 -⑤

美深町まちづくり推進町民会議



①第5次美深町総合計画(平成28年度事業実績)について

第5次総合計画に基づく、平成28年度総合計画の実績額として32億3,178万円の執行額の状況(計画に対する執行率90.4%)や、町の資金借入である地方債についての説明が行われました。

主な事業内容の説明としては、ごみ埋立処分場広域整備事業、チョウザメ振興事業、美深高校卒業生就学支援事業など、主要事業の事業費、過疎債の充当状況を計画・実績と対比し、総合計画に基づく「まちのしごと」の報告を行いました。

②平成29年度(平成28年度事業)行政評価結果について

平成28年度の評価実績としては、1次評価220事業、2次評価102事業、3次評価(行政評価町民委員会)31事業の評価が行われました。

評価の結果としましては、A評価22施策(71%)B評価9施策(29%)C及びD評価は0評価となりましたが、個別事業別の課題もあり、来年度以降の対応方法の考え方について説明を行いました。

③まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果について

本年8月に実施された「まち・ひと・しごと創生総合戦略評価報告書」に基づき、基本目標毎に設定されたKPIの評価結果について説明が行われ、主だった事業内容の報告が行われました。

④一般廃棄物処分場の移行及び資源ごみ専用袋の廃止について

来年3月末で現在の埋立処分場が廃止になり、4月からは「名寄地区広域最終処分場」に移行することから、ごみ専用袋の説明が行われました。

委員～40ℓ以上の大きいサイズの袋の販売はないのか。

住民生活課長

40ℓ以上になると粗大ごみ扱いとなり年2回、回収している。袋の大きさが大きくなると重くなるので、ごみ収集の方で扱えるのか確認が必要である。

委員～名寄の処分場の開閉時間について尋ねたい。

住民生活課長

まだ細かな点で決まっていないこともあるので決まり次第、広報誌などで周知する。

<出席委員からの主な質疑・意見>

●災害対策について

委員～ 行政のハザードマップで危険地区に推定されている役場庁舎、特養の移設を求む。特養は高台への移設を早い機会に進めてほしい。

保健福祉課長

特養は建設されてから30年が経過している。災害対策を含めて社会福祉法人とも協議していきたい。

●広域事業（道北地域）のアウトドアについて

委員～ 広域事業の道北地域全体でアウトドアに関するイメージの統一化を図ろうと行っている。その事務局を美深町観光協会が担っている。雪の中でのキャンプ、寒い時期に焚火を囲む、釣りを楽しみながらの川下りをし、他の地域とは一風変わったアウトドアの体験の提供を2年前から行っている。それをまとめたパンフレットを作成し、全国に配布し、英語版も作成したことから外国人観光客も多く参加している。11月4～5日に、仁宇布でキャンプイベントが行われるが女性が半分以上参加されるということで新しい展開が期待される。道の支援が3年目で、今年で終了となるため、来年度から美深町の支援をいただきたい。美深町以外の近隣町村でガイドがない。ガイド誘致が必要。受入れ人数が少ないこと、また特殊のアウトドアということで1人あたりの金額が高く1泊4～5万円で設定している。釣りは3泊で20万とかなり高額である。大型バスで観光するスタイルはこの地域には適していない。

町長

どこかで機会を作ってこの話を町民に分かるよう説明してほしい。

●(株)SUBARUのテストコースについて

委員～ (株)SUBARUが仁宇布でテストコースを工事するというので、社員の雇用見込、未来図などをおおまかでもいいので教えてほしい。

総務課長

工事の関係は今年度で終わってしまう。10月19日に関係者にテストコース見学会、町民は4月以降にお披露目と考えている。町民の雇用で考えられるのは、警備、環境整備であると思う。期待できるほど多くはないが、地元雇用もあると思う。経済効果、燃料など地元の消費も増えていくと思っている。

町長

10月20日に国内外のマスメディアの200人くらいが、飛行機をスバルがチャーターしてテストコースに来る。町民には来春お披露目したい。(株)SUBARUが美深町のエコをクリエイトしたいということで、SUBARUの森構想を企画している。東京モーターショーで(株)SUBARUから美深の白樺の宣伝をしたいという提案があった。美深町の広報活動について色んなことを考えてくれていようである。



<出席委員からの主な質疑・意見>

●役場へのメール送受信について

委員～ 役場から送られるメールだが、こちら側は添付ファイルを受信できるが、役場へ添付ファイルが送れず、役場とのメールのやりとりが非常にやりにくい。何かもう少し便利よくできないのか。

総務課長

セキュリティ強化の関係で、手間をかせさせている。宅ファイル便は受け取れる。他の町では宅ファイル便も受け取れないところがあると聞いている。

委員～ 振興局はやり取りできる。こちらのタイミングで見ることができる。役場からはこちらに送ってほしいという連絡を頂かないといけない。こちらが送るタイミングで見ることが出来ない。

総務課長

早急な解決は難しいかと思うが、道で行っているものを参考に検討していきたい。

